

患者の皆様へ

2018年7月17日

整形外科

現在、整形外科では、「転移性脊椎腫瘍の手術に関する多施設前向き研究」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では2018年研究承認後から2020年3月31日までの転移性脊椎腫瘍患者さんの周術期および術後の診療情報などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「転移性脊椎腫瘍の手術に関する多施設前向き研究」

2. 研究の意義・目的 手術を行った転移性脊椎腫瘍の患者さんの治療成績、手術の前後で経験した合併症、生命予後、機能予後、患者さんの治療満足度について調査を行います。組み入れ患者さんの協力によって得られた情報が、将来の転移性脊椎腫瘍患者さんの診療に大変有用な情報になることが期待されます。

3. 研究の方法 (1) 問診、基本情報、(2) スコアリング、(3) 評価表、(4) 患者アンケートにて情報を収集し分析します。具体的には年齢、性別、生年月、原発巣の種類、転移椎の高位、他の骨転移の有無、手術日、手術部位、手術時間、出血量、手術術中合併症、患者さんにご記入いただいたアンケートなどを集計しデータ化します。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、筑波大学整形外科研究室の鍵のかかる棚で保管します。

5. 外部への試料・情報の提供

この研究は千葉大学を中心に全国の複数の医療機関にて行います。組み入れ患者さんの情報に対して、この研究用のIDを発行します(匿名化)。記録媒体は紙と電子の両者を用います。匿名化されたデータは、統合して解析するため解析施設に郵送で集められます。

6. 研究組織

【研究代表者】

千葉大学医学部附属病院整形外科 教授 大鳥精司

【他の参加施設】

国際医療福祉大学三田病院（研究責任者：石井賢）

慶應義塾大学医学部附属病院（研究責任者：渡辺航太）

名古屋大学医学部附属病院（研究責任者：今釜史郎）

金沢大学医学部附属病院（研究責任者：村上英樹）

九州大学病院別府病院（研究責任者：播広谷勝三）

東千葉医療センター（研究責任者：青木保親）

大阪市立大学医学部附属病院など（研究責任者：寺井秀富）

7. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をします。下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

研究実施機関 : 筑波大学附属病院

本件のお問合せ先 : 筑波大学附属病院整形外科

責任医師 : 筑波大学医学医療系整形外科 教授 山崎 正志

電話 : 029-853-3219 (整形外科秘書室 : 平日 9:00~17:00)

029-853-3111 (上記時間以外の夜間、休日 防災センター)

研究代表機関 : 千葉大学医学部附属病院整形外科

研究代表者 : 教授 大鳥 精司